

合羽版 森義利の世界

会 期 2014年4月12日(土)～2014年6月29日(日)

このたび、高崎市タワー美術館では、版画家・森義利(1898～1992)を紹介する展覧会を開催いたします。

森は、下町の風物や歌舞伎、平家物語や源氏物語をテーマに躍動感あふれる版画作品を制作し、日本だけでなく海外での評価も高い作家です。もともと染色家であった森は、60歳を過ぎてから本格的に版画家としての道を歩み始め、合羽版という技法で独自の作品世界を築き上げました。

合羽版とは、柿渋を塗った紙に小刀で絵柄を切り抜いて型紙を作り、刷毛で絵具を摺り込んで転写する版画技法で、ステンシルの一種といえますが、森は、この合羽版の技法に加えて、防染糊を用いて色分けする型染技法を併用しています。作品1点に使う型紙の数は作品の色数によって異なりますが、防染して地色を残すための型、合羽摺りによって色彩を施すための型、糊置きして輪郭となる描線を摺るための型など、複数枚を組み合わせて制作されます。

その作品は、画面から飛び出してくるような迫りに満ち、また森が愛した歌舞伎や東京下町の風情など、江戸の余香が漂う古きよき日本の姿が残されています。本展覧会では、森が生涯を過ごした町、東京都中央区が所蔵する合羽版と肉筆画を中心に、粋で洒脱なその作品世界をご紹介します。

会 場 高崎市タワー美術館 (〒370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)

開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ 午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)

休館日 毎週月曜日、5月7日

※4月26日～5月6日は休まず開館

会期中の休館日：4/14・21、5/7・12・19・26、6/2・16・23

観覧料 一般：500円(400円)、大学・高校生：300円(250円)

- 高崎市美術館との共通券は一般：800円、大学・高校生：500円
- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

特別協力 中央区教育委員会

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J・COM群馬、エフエム群馬、ラジオ高崎

関連事業

- 講演会「森 義利の合羽版」 『版画藝術』編集主幹・松山龍雄 5/31 14:00～
- 学芸員による作品解説会 4/12、4/27、5/10、5/25、6/15 14:00～